



## 2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月31日

上場会社名 株式会社 栃木銀行  
 コード番号 8550 URL <https://www.tochigibank.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 黒本 淳之介  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 大串 美和 TEL 028-633-1241  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月6日 特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	32,532	0.3	658	85.1	237	
2018年3月期第3四半期	32,640	18.8	4,421	53.0	3,779	26.6

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 3,599百万円 ( %) 2018年3月期第3四半期 6,909百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	2.28	
2018年3月期第3四半期	36.29	36.17

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	2,930,094	162,406	5.4
2018年3月期	2,870,399	166,882	5.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 156,819百万円 2018年3月期 161,437百万円

注) 「自己資本比率」は(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		4.00		4.50	8.50
2019年3月期		4.00			
2019年3月期(予想)				4.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	3.2	1,900	72.3	500	88.9	4.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	109,608,000 株	2018年3月期	109,608,000 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	5,307,615 株	2018年3月期	5,438,279 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	104,249,601 株	2018年3月期3Q	104,149,222 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
4. 四半期決算のポイント	
(1) 損益の状況【連結】【単体】	7
(2) 主要勘定の状況【単体】	8
(3) 健全性の状況	
①自己資本比率【連結】	9
②不良債権の状況【単体】	9
5. 参考情報	
(1) 2019年3月期 第3四半期損益概要【単体】	10
(2) 金融再生法開示債権【単体】	10
(3) 自己資本比率(国内基準)【単体】【連結】	11
(4) 時価のある有価証券の評価差額【単体】	11
(5) 預金・貸出金の残高【単体】	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)の経済情勢は、国内では人手不足を背景とした合理化・省力化投資等に加えて、働き方改革の進展により企業の生産効率は向上しつつあります。また、7~9月期の自然災害からの回復もあり、企業収益や生産活動は改善するなど景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、世界経済ではアジアにおける地政学リスクや米中の貿易問題のほか、国内外の株式市場の不安定な動向など、依然先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当行グループは2017年4月より第九次中期経営計画をスタートし、顧客基盤の拡大と収益力強化に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

経常収益は、有価証券利息配当金の減少等により前年同期比1億7百万円減少し325億32百万円となりました。また経常費用は、国債等債券売却損の増加等により前年同期比36億55百万円増加し318億74百万円となりました。

この結果、経常利益は6億58百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億37百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産は、有価証券、貸出金の増加等により前連結会計年度末比596億円増加し、2兆9,300億円となりました。負債は、預金の増加等により前連結会計年度末比641億円増加し、2兆7,676億円となりました。また純資産は、その他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末比44億円減少の1,624億円となりました。

なお、主要勘定の状況は次のとおりとなりました。

#### ①預金

個人預金の増加等により、預金残高は前連結会計年度末比666億円増加し2兆7,041億円となりました。

#### ②貸出金

個人・中小企業向け貸出の増加等により、貸出金残高は前連結会計年度末比225億円増加し1兆9,104億円となりました。

#### ③有価証券

有価証券残高は前連結会計年度末比526億円増加し5,301億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報

2018年10月に米ドル建固定金利債券を含む受益証券を売却し、35億円の国債等債券売却損を当四半期決算に計上しております。この売却損35億円の計上は、2018年11月7日の通期業績予想の公表時において、すでに考慮されていたものであります。当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失は2億37百万円となっておりますが、現在において業績は予定通りに進捗しており、2018年11月7日に公表した通期業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	439,290	423,521
コールローン及び買入手形	3,880	3,828
商品有価証券	142	145
金銭の信託	2,133	1,832
有価証券	477,443	530,108
貸出金	1,887,886	1,910,434
外国為替	1,739	1,751
その他資産	35,006	36,635
有形固定資産	24,242	23,718
無形固定資産	926	755
繰延税金資産	4,581	6,033
支払承諾見返	3,343	3,443
貸倒引当金	△10,216	△12,115
資産の部合計	2,870,399	2,930,094
<b>負債の部</b>		
預金	2,637,485	2,704,173
譲渡性預金	39,412	36,805
借入金	6,924	4,436
外国為替	21	46
その他負債	10,971	14,659
賞与引当金	902	237
役員賞与引当金	32	9
退職給付に係る負債	2,705	2,228
睡眠預金払戻損失引当金	290	275
偶発損失引当金	244	190
特別法上の引当金	6	5
再評価に係る繰延税金負債	1,175	1,175
支払承諾	3,343	3,443
負債の部合計	2,703,516	2,767,688
<b>純資産の部</b>		
資本金	27,408	27,408
資本剰余金	26,154	26,154
利益剰余金	110,263	109,131
自己株式	△2,440	△2,381
株主資本合計	161,386	160,313
その他有価証券評価差額金	1,393	△2,216
土地再評価差額金	△915	△916
退職給付に係る調整累計額	△425	△359
その他の包括利益累計額合計	51	△3,493
新株予約権	135	109
非支配株主持分	5,309	5,476
純資産の部合計	166,882	162,406
負債及び純資産の部合計	2,870,399	2,930,094

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
経常収益	32,640	32,532
資金運用収益	20,852	19,657
(うち貸出金利息)	16,191	15,785
(うち有価証券利息配当金)	4,418	3,569
役務取引等収益	5,536	5,483
その他業務収益	1,178	1,497
その他経常収益	5,072	5,893
経常費用	28,218	31,874
資金調達費用	480	448
(うち預金利息)	436	410
役務取引等費用	2,653	2,586
その他業務費用	525	4,106
営業経費	20,023	19,618
その他経常費用	4,535	5,113
経常利益	4,421	658
特別利益	100	20
固定資産処分益	29	20
段階取得に係る差益	18	—
負ののれん発生益	52	—
金融商品取引責任準備金取崩額	0	0
特別損失	7	138
固定資産処分損	7	43
減損損失	—	94
税金等調整前四半期純利益	4,514	540
法人税、住民税及び事業税	195	584
法人税等調整額	268	9
法人税等合計	463	593
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,050	△53
非支配株主に帰属する四半期純利益	270	184
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,779	△237

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	4,050	△53
その他の包括利益	2,858	△3,545
その他有価証券評価差額金	2,690	△3,611
退職給付に係る調整額	168	65
四半期包括利益	6,909	△3,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,639	△3,781
非支配株主に係る四半期包括利益	269	182

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 四半期決算のポイント

## (1) 損益の状況

## 【連結】

- ▶ 経常収益は、有価証券利息配当金の減少等により前年同期比1億7百万円減少の325億32百万円となりました。
- ▶ 経常費用は、国債等債券売却損の増加等により前年同期比36億55百万円増加の318億74百万円となりました。
- ▶ この結果、経常利益は6億58百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億37百万円となりました。

## 【連結損益計算書(抜粋)】

(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期(A)	2018年3月期 第3四半期(B)	増減 (A)-(B)
経常収益	32,532	32,640	△ 107
(内、有価証券利息配当金)	3,569	4,418	△ 849
経常費用	31,874	28,218	3,655
(内、国債等債券売却損)	4,062	495	3,567
経常利益	658	4,421	△ 3,763
親会社株主に帰属する四半期純利益 (△は親会社株主に帰属する四半期純損失)	△ 237	3,779	△ 4,016

## 【単体】

- ▶ コア業務純益は、有価証券利息配当金の減少等により前年同期比6億35百万円減少の32億98百万円となりました。
- ▶ 業務純益についても国債等債券売却損の増加等により、前年同期比40億70百万円減少の66百万円、実質業務純益は前年同期比37億85百万円減少の1億52百万円となりました。

## 【単体損益計算書(抜粋)】

(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期(A)	2018年3月期 第3四半期(B)	増減 (A)-(B)
コア業務純益	3,298	3,933	△ 635
(内、有価証券利息配当金)	3,582	4,415	△ 833
業務純益	66	4,137	△ 4,070
(内、国債等債券売却損)	4,062	495	3,567
実質業務純益	152	3,938	△ 3,785
経常利益	355	3,886	△ 3,530
四半期純利益 (△は四半期純損失)	△ 235	3,608	△ 3,843

## (2) 主要勘定の状況

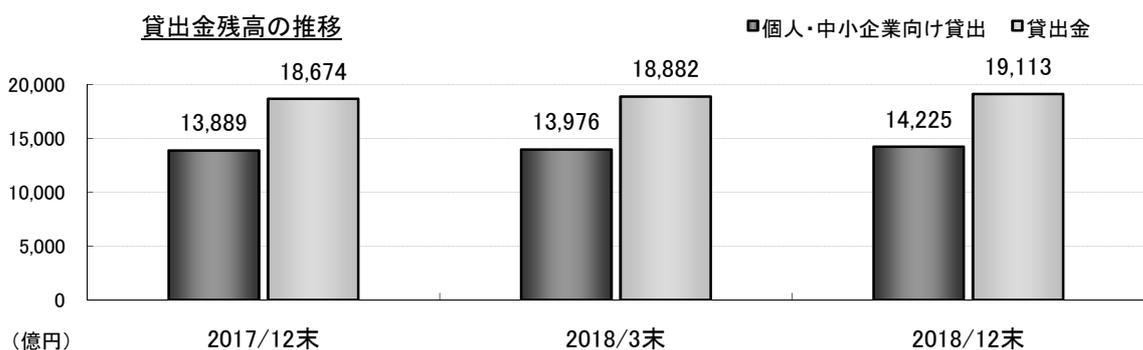
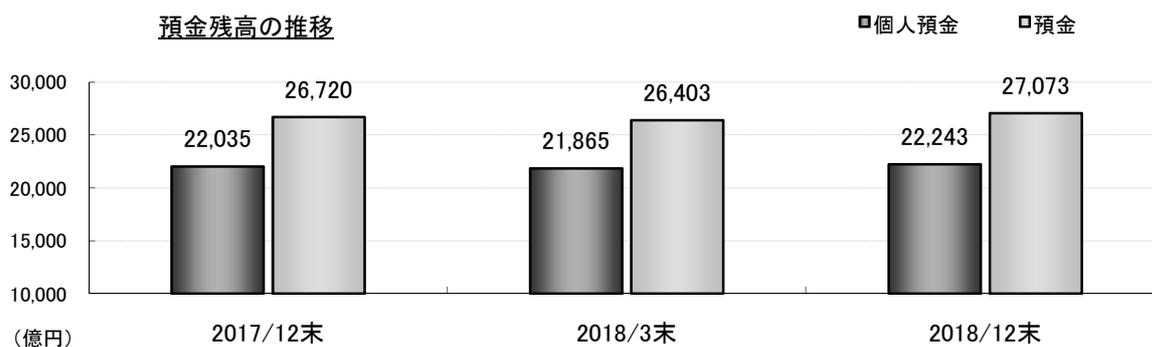
- ▶預金残高は、個人預金の増加等により2018年3月末比670億円増加の2兆7,073億円となりました。
- ▶貸出金残高は、個人、中小企業向け貸出の増加により2018年3月末比231億円増加の1兆9,113億円となりました。

## 【単体】

(単位：億円)

	2018年12月末 (A)	2018年3月末 (B)	増減 (A)-(B)
預金	27,073	26,403	670
うち個人預金	22,243	21,865	378
貸出金	19,113	18,882	231
うち個人・中小企業向け貸出	14,225	13,976	248

(注) 譲渡性預金は含んでおりません。



## (3) 健全性の状況

## ① 自己資本比率【連結】

▶ 連結自己資本比率は、貸出金の増加等によりリスクアセットが増加し、2018年3月末比0.54ポイント低下の11.50%となりました。

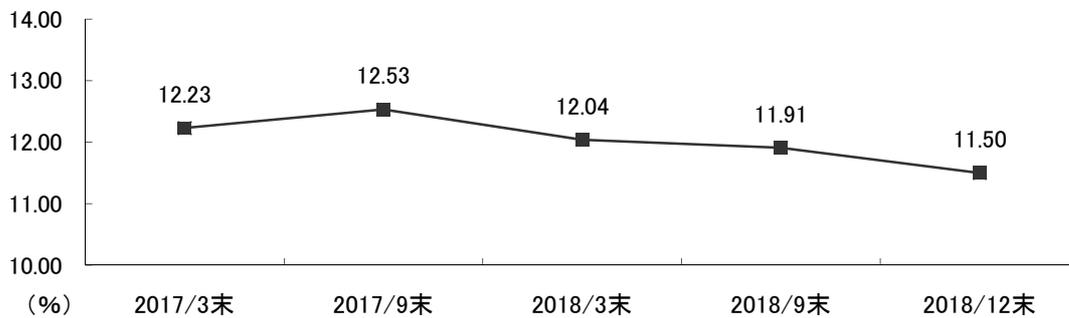
【連結】

(単位：%)

	2018年12月末 (A)	2018年3月末 (B)	増減 (A)-(B)
連結自己資本比率	11.50	12.04	△ 0.54

自己資本比率の推移

—■— 連結自己資本比率



## ② 不良債権の状況【単体】

▶ 金融再生法開示債権は、2018年3月比11億円減少の445億円となりました。  
▶ 不良債権比率は、2018年3月末比0.09ポイント低下の2.31%となりました。

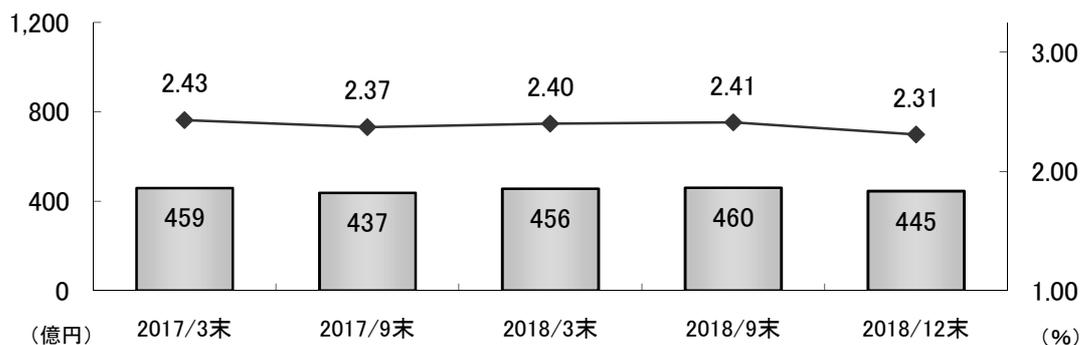
【単体】

(単位：%、億円)

	2018年12月末 (A)	2018年3月末 (B)	増減 (A)-(B)
不良債権比率	2.31	2.40	△ 0.09
金融再生法開示債権	445	456	△ 11

金融再生法開示債権・比率の推移

■ 金融再生法開示債権 —◆— 不良債権比率



## 5. 参考情報

## (1) 2019年3月期 第3四半期損益概要【単体】

(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2018年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	増減 (A)-(B)
業務粗利益	18,557	22,781	△ 4,223
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	21,703	22,776	△ 1,073
資金利益	19,250	20,386	△ 1,136
役務取引等利益	2,210	2,012	197
その他業務利益	△ 2,902	382	△ 3,284
経費 (除く臨時処理分)	18,404	18,843	△ 438
コア業務純益	3,298	3,933	△ 635
国債等債券損益 (5勘定戻)	△ 3,145	4	△ 3,149
実質業務純益	152	3,938	△ 3,785
一般貸倒引当金繰入額①	86	△ 198	285
業務純益	66	4,137	△ 4,070
臨時損益	289	△ 250	540
不良債権処理額②	3,385	1,720	1,664
(貸倒償却引当費用①+②)	3,471	1,521	1,950
株式等関係損益	2,928	890	2,038
株式等償却	116	8	108
経常利益	355	3,886	△ 3,530
特別損益	△ 128	6	△ 134
税引前四半期純利益	227	3,892	△ 3,665
法人税、住民税及び事業税	473	8	464
法人税等調整額	△ 10	275	△ 285
法人税等合計	462	284	178
四半期純利益 (△は四半期純損失)	△ 235	3,608	△ 3,843

## (2) 金融再生法開示債権【単体】

(単位：百万円)

	2018年12月末	2017年12月末	2018年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,104	2,885	2,639
危険債権	40,994	35,114	41,577
要管理債権	1,428	1,483	1,438
合計(A)	44,527	39,483	45,655
正常債権	1,875,663	1,836,517	1,851,018
総与信額計(B)	1,920,190	1,876,000	1,896,674
総与信額に占める割合 (A/B)	2.31%	2.10%	2.40%

## (3) 自己資本比率 (国内基準)

## 【単体】 (単位: 百万円、%)

	2018年12月末	2018年3月末
(1) 自己資本比率 (2)/(3)	11.33	11.89
(2) 単体における自己資本の額	162,839	163,296
(3) リスク・アセットの額	1,436,150	1,372,307
(4) 単体総所要自己資本額 (3)×4%	57,446	54,892

## 【連結】 (単位: 百万円、%)

	2018年12月末	2018年3月末
(1) 自己資本比率 (2)/(3)	11.50	12.04
(2) 連結における自己資本の額	166,757	166,937
(3) リスク・アセットの額	1,449,043	1,385,469
(4) 連結総所要自己資本額 (3)×4%	57,961	55,418

## (4) 時価のある有価証券の評価差額【単体】

(単位: 百万円)

	2018年12月末		2017年12月末		2018年3月末	
	時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
その他有価証券	502,999	△ 3,266	441,077	8,117	473,215	1,839
株式	13,673	270	20,704	8,202	19,109	5,111
債券	189,616	690	244,159	493	209,260	356
その他	299,710	△ 4,227	176,213	△ 579	244,846	△ 3,628

(注) 1. 「評価差額」及び「含み損益」は、帳簿価額 (償却原価法適用後、減損処理後) と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位: 百万円)

	2018年12月末		2017年12月末		2018年3月末	
	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
満期保有目的の債券	22,044	388	—	—	—	—

## (5) 預金・貸出金の残高【単体】

(単位: 百万円)

	2018年12月末	2017年12月末	2018年3月末
預金	2,707,389	2,672,096	2,640,341
うち個人預金	2,224,355	2,203,569	2,186,500
貸出金	1,911,358	1,867,423	1,888,220
うち住宅ローン	550,071	535,342	541,192

(注) 譲渡性預金は含んでおりません。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

経営企画部 大串・斎藤・岩本 TEL 028-633-1455